

防災科学技術研究所職員の平成 30 年 7 月豪雨被害地域への派遣状況

防災科学技術研究所
平成 30 年 8 月 17 日現在

平成 30 年 8 月 17 日時点で、防災科学技術研究所から、豪雨の被災地域に累計 63 名の職員が派遣されており、被災地支援を実施している。

派遣先	累計派遣人数※	主な業務内容
広島県庁	27 名	○被害状況、関係機関の対応状況等に関する情報の集約 ○現地ニーズに合わせた地図作成による情報共有
岡山県庁	11 名	
愛媛県庁	14 名	
大分県庁,熊本県, 長崎県庁,佐賀県庁, 福岡県庁,兵庫県庁, 京都府庁,倉敷市	7 名	○ヒアリング等による被害状況、支援ニーズ等の把握
広島市消防局	1 名	○UAV 空撮による被害状況調査
京都府,兵庫県,香川県, 高知県,愛媛県,福岡県, 大分県,山口県,広島県, 岡山県	3 名	○土石流等斜面変動の発生場所と地質を確認するための 土砂災害調査

累計 63 名

※本年 7 月 7 日から 8 月 17 日までに派遣されたことのある職員の人数であり、同じ職員が複数回派遣された場合も 1 名として積算している。